

「消えたバター」は どこにあるのか？

昨年だったろうか？

我が家の冷蔵庫からバターがなくなった。

我が家のまん前のスーパーの棚からはバターが消え、2～3軒スーパーを探すのだけれど、どこにも見当たらない。いつもの銘柄は望むべくも無く、どんな銘柄でもよいからと家族が手分けして探す。やはり見当たらない。

日本は豊かな国であったはずだがどうしてバターがないのか？

しばらくして、我が家のまん前のスーパーの棚にバターがもどってきた。

しかし、いつもの銘柄ではない。しかも「お一人様1個かぎり」と書かれている。取り合えず、あまり見慣れない銘柄のバターを仕方なく購入した。

しかし、そのバターは瞬く間に売り切れた。

またもや、我が家のまん前のスーパーの棚からはバターが消えた。

300円台で買えたバターが400円台、600円台と値上がりしている。

品物が無いのだから、高くても買う人はいる。

江戸時代の『米問屋』と『悪奉行』の「越後屋や、お主も悪よのう」という囁きが聞こえてきそうだ。

その手は桑名の焼きハマグリ。

消費者の「伝家の宝刀」をギラリと抜いて、我が家は「不買運動」の体制に突入した。

多くの消費者はバターの代わりに「マーガリン」を買ってしまうのだろうが「マーガリンは健康に悪い」。

《アメリカのFDA（食品医薬品局）は2015年6月18日…マーガリンやチョコレートクリームなどに使われるトランス脂肪酸について、アメリカのFDA（食品医薬品局）は16日（2015年6月）に「安全ではない」と判定し、3年以内にトランス脂肪酸を含む食品添加物を全廃するよう通達した。》

我が家のまん前のスーパーの食パン売り場のなかでマーガリンを使っていない食パンは「ヤマザキ」の「ふんわり食パン」と「pascoco」の山型超熟「国産小麦」だけで、他の食パンは「ヤマザキ」といっても漏れなく「マーガリン入り」です。

マーガリンを入れて作られた食パンをトースターで焼いてマーガリンを塗って食べる。なんとなくおぞましい感じがして、FDAの通達よりはるか前の10年ほど前から我が家ではマーガリンを止めています。

代わりにオリーブ油を使ったり、「アヲハタ」のジャム、蜂蜜にシナモンなどで楽しく朝食をいただいています。

しかし、トーストしたての食パンに本物のバターをたっぷり塗っていただくときの「日焼けした」「健康的な乙女」の「膚」の色や香りを思わせる「トースト&バター」は捨てがたく、バターがときどき恋しくなります。

ついさきほども、我が家のまん前のスーパーの「バターコーナー」を見に行ったのですが空きスペースが目立ちました。

1年たってもバターは不足しているのです。

環太平洋連携協定（TPP）が影響か。

ところでなぜ、バター不足になっているのでしょうか。

本日の新聞の1面は「TPP大筋合意へ」「新薬・乳製品など大きな前進」と報じています。

日本の酪農は乳牛に与える餌が輸入品なので円安で飼料が上昇してしまった。飼料が高ければ酪農は儲かりません。ただでさえ後継者不足の酪農家は営農の意欲が下がります。TPPによって海外の安い乳製品が大量に入ってくることが予想され酪農家の離農に拍車がかかります。

◆農林水産省は「酪農家を守るために、 バターの輸入を規制」しています。

どうやら、犯人は日本の『農林水産省』

犯人像がオボロゲながら見えてきました。

日本の酪農のために良かれ、と思っで行われた農林水産省の「バター輸入規制」が『消費者のバター入手難』を産み出していたようです。

小学生でも分かる理屈が「バターが不足しているのにバターの輸入規制」をする。

こんな分かり易い理屈はありません。

おとなり中国で毛沢東主席というバカモノが飢饉のときに食糧を輸出して中国の国民を数千万人餓死させたことがありましたが、『バター不足のときにバターの輸入を規制する』とは言語道断。自由主義経済の日本国が民間企業が自由にバターを輸入できないようにしているのです。

まるで「ひいきの引き倒し」のようなわかり易い構造です。

この規制を自由に手玉に取っている独立行政法人「農畜産業振興機構」です。所在地は東京都の麻布台。「アメリカン倶楽部」の向かい側の（故）河野一郎先生のビルディング内と推察されますが、職員数234名、役員10名。この小さな天下り団体がバター不足を演出しながら天下り役員の年間10億円の費用を稼ぎ出している、のです。

普通の食品なら不足すれば民間事業者が輸入できますが、バターは農水省の「バター利権」があるので民間が手を出せない。

独立行政法人「農畜産業振興機構」が独占輸入の利権のもと、ペーパーワークだけで毎年10億円以上の収入を得ている、からです。自作自演のバター不足、バター価格高騰、輸入調整による「濡れ手に粟」。牛乳やチーズ、ヨーグルトはスーパーの売り場にあふれかえっているのにバターだけが不足しているのは農林水産省の「バター利権」が犯人だったのです。

